



市制施行50周年を迎え、これからの小平のまちづくりを考え行動するきっかけになるようなシンポジウムを企画しました。このために市が委員を公募し、応募した市民27名と市職員をもって実行委員会を結成し、まちづくりについての想いと講師に期待する内容などについて協議を重ねるとともに、小平市社会福祉協議会の協力を得て準備を進めてきました。

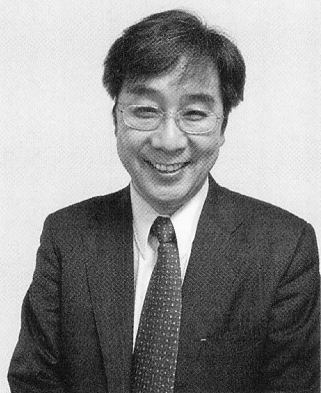
小平は、昭和30年代以降人口が急速に増加し、人與人、人と地域のつながりが希薄となり、コミュニティの再生を必要としています。また、急速な少子高齢化、財政上の問題、市民ニーズの多様化などにより、市民が自主性、主体性をもって、自分たちにとって住みやすいまちを自らつくっていかねばならないと考えています。

当市では、近年、公募市民が自治基本条例の策定に深く関わったり、公民館や地域センターなどでさまざまなグループが活発な活動をしています。東日本大震災以降、安全で安心して暮らせるまちづくりへの想いは強く、グループ間の交流や地域の活動に新たに参加される方も増えております。

このシンポジウムによって、そういった多くの市民の想いをもとに、更なるまちづくりを進めていきたいと考えています。一人でも多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

市民活動まちづくりシンポジウム実行委員会

講師プロフィール



はや せ のほる
早瀬 昇さん

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事、社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事、関西大学経済学部客員教授。「新しい公共」推進会議構成員、大阪市などの自治体の各種委員会委員などを歴任。自他共に認める熱烈な阪神タイガースファン。ビートルズをこよなく愛する。「典型的なB型」(要は落ち着きがない)と言われるが、本人は血液型と性格の関係を信じていない。(実際、典型的な「俗説」です)。フルボディの赤ワイン党。水瓶座、動物占いで「波乱に満ちた」ペガサス。著書に『寝ても覚めても市民活動論』『市民社会の創造とボランティアコーディネーション』『NPOはやはりQ&A』などがある。

しお み とし ゆき
汐見 稔幸さん

白梅学園大学および白梅学園短期大学学長。東京大学名誉教授、日本教育学会常任理事、日本保育学会理事、こども環境学会副会長、日本赤ちゃん学会理事、文部科学省中央教育審議会教育課程部会委員、放送倫理・審査向上機構 放送と青少年に関する委員会委員長。専門は教育学、教育人間学、育児学。育児学や保育学を総合的な人間学と考えており、ここに少しでも学問の光を注ぎたいと願っている。また、教育学を出産、育児を含んだ人間形成の学として位置づけたいと思い、その体系化を与えられた課題と考えている。三人の子どもの育児にかかわってきた体験から父親の育児参加を呼びかけている。著書に『親子ストレス』『学力を伸ばす家庭のルール』『「格差社会」を乗り越える子どもの育て方』『子どもの自尊心と家族』『小学生 学力を伸ばす 生きる力を育てる』などがある。

